

八月

我が身は藤のごとくなれども

法華経の松にかかりて

妙覚の山にもものぼりなん

盂蘭盆御書

弘安三年（二二八〇）大聖人五十九歳

盂蘭盆のもととなった釈尊の弟子の目連尊者。尊者は二百五十

ことで母親を救うことができたのです。

大智慧者である目連尊者でさえも『法華経』の力で成仏したのだから、当世の我々も言うまでもなく『法華経』の功德によつて成仏するしかないと言われました。

その母親は、他人に施すことに堕ちてしまいました。尊者は神通力を使つて母親を救おうとしますが叶わず、釈尊の教えを請い、修行者たちに百味飲食を施し供養する（施餓鬼供養）する

大聖人は、弘安3年（二二八〇）、御歳59歳の時に、ちようどお盆に供養の品々を送つてきた、弟子である治部公日位上人の祖母に宛てて、御礼の言葉とともに盂蘭盆のいわれや、その後、目連尊者が正直に方便の教え（小乗の戒律）を捨てて、『法華経』を受持したことで成仏したことを述べられ、

そして実例が、「藤はそのままでは地に這うしかないが、松の巨木に出会うことで高みに登ることができる」とのお言葉です。私たちが『法華経』の松に懸ければ、覚りへ登ることができるのです。

九月

法華経修行の者の所住の処を

浄土と思うべし

守護国家論

正元元年（二二五九）大聖人三十八歳

このお言葉は、日蓮大聖人が正元元年（二二五九）に御歳38歳にして鎌倉にて著された『守護国家論』の二節です。本書は『立正安国論』と並んで、大聖人の初期の重要な御書です。

本書において大聖人は、とくに浄土宗の開祖である法然著作の『選択本願念仏集』を激しく批判されました。

すなわち、阿弥陀仏以外の仏に

対する修行を「捨閉闍拋」（すてよとじよ・さしおけよ・なげうてよ）と説いたことや、西方極楽浄土の阿弥陀仏を信仰し、極楽往生を求めめる行為は、『法華経』の中で久遠

生することを願えばよいのか？という疑問について、大聖人は、如来寿量品第十六や如来神力品第二十一の経文をあげられ、園の中

実成の本仏であることが説き明かされた釈尊を蔑ろにするものであり、許しがたいと述べられました。それでは極楽浄土への往生を願う浄土門徒に対して、『法華経』に帰依する者は何処の浄土に往

でも、林の中でも、樹の下でも、僧坊でも、俗人の家でも、殿堂の内でも、山谷広野でも、どのような場所でも、『法華経』を正しく信仰し修行する者がいるその場所こそが、そのまま浄土となると説かれました。

ひとくち 法話

「お盆を迎えて」

区正寺 第六教区
市妙正寺 福井 常陽
児玉



今年もお盆を迎えました。

お盆で思い出すのは、小僧の時に師匠である祖父とともに、お盆経に行った時のことです。朝の5時から最初の檀家宅に伺うのですが、当時は小学生ですから早起きが辛くて仕方ありません。お経も満足に読めないのが、祖父の読経についていくのがやっとでした。眠たく辛いのです

が「休みたい」と言おうものなら、「お寺の子じゃない」とバシッと叱られました。しかし不思議なもので、厳しい師匠の言葉が今となってはいい思い出だったりします。40年以上前の話ですが、子供であった私の性格も踏まえて、優しく時には厳しかった師匠、そして、温かく見守ってくださった檀家の皆様には「見守ってください、ありがとうございます。」と感謝しております。

さて、年配の方は「お陰様で」という言葉をよく口にされています。私ので元福井の方も、戦争や福井地震(昭和23年)を乗り越え困難を経験された世代は、大雪が降れば励まし合い、お葬式があればご近所が互いに

助け合って、故人と最後のお見送りをいたしました。今とは違い、仕事をするのも一人ではできないことばかりの時代でしたので、いざとなれば周囲は協力して、仏事をはじめ、様々なことを行なったのです。

「お陰様」とは、目には見えないことに感謝の心を持ち、お互いに助け合う、互助の精神です。最近あまり聞かなくなりましたが、それは、私たち日本人が「お陰様」の心を忘れてしまっているからではありません。お盆にあたり、ご先祖様からいただいた命に感謝し、一人ひとりが助け合い支え合う心を、お題目の信仰から学び直しましょう。

今さらきけない 仏教Q&A

Q「ご利益」について教えてください。

A 「利益」には二通りの読み方があります。

「りやく」と読むと、「仏・菩薩の慈悲。修行の結果として得られる功德。神仏が法力によって、衆生に恩恵を与えること」になり、これを「りえき」と読むと、「得をすること。利得。得分。もうけること」となります。

皆さんよくお聞きになる「現世利益」という言葉がありますが、どちらかといえば、金銭的な儲けや、物質的な豊かさの「利益(りえき)」の意味で認識されている方が多いのではないのでしょうか。

しかし本当の意味での「現世利益」とは、「正しい信仰に励むこと」によって、反省の心や感謝の心が育まれ、自然に心が豊かになり、その生活態

度が幸福につながっていく」ということなのです。

法華經の薬草喻品第五に「現世安穩・後生善処」という経文があります。これは「法華經を信じる人は、現在の世では安穩な生活をなし、未来の世ではよい世界に生まれる功德がある」という意味です。

私達は、お釈迦さまがお説きになられた法華經と、宗祖日蓮大聖人のお唱えになられたお題目の信仰と、開祖日什大正師のみ教えを心の柱とし、「りえき」ではなく「りやく」を頂く努力と精進を、家庭生活の中で続けることが肝心ではないでしょうか。

願本法華宗の正しい信仰に基づいた「ご利益」は、必ずいただけるものであります。

「まちがい絵さがし」「仏教Q&A」「和顔愛語」応募要項

官製はがきまたは封書にて、住所・氏名・年齢・菩提寺名・『心の宝』への感想を記入の上、下記宛先までご応募ください(匿名で掲載希望の方は、その旨お書きください)。

〒700-0818 岡山市北区蕃山町 3-5 本行寺内『心の宝』編集部

〆切り 8月末日 (消印有効)

ぶらり 奇々を訪ねて

かつて好評をいただいた連載コーナーが新しくなりました。ご住職からの一言も紹介いたします。

第2教区

月見山 松源寺

千葉県四街道市山梨1435-1



開基 常検院日正上人

創建 大永7年(1527年)

住職 第23世 齊藤成貴師



お寺の見どころ

松源寺は、緑豊かな野鳥たちのさえずりが聞こえるのどかな場所にあります。本堂前には、百日紅の古木があり、7月〜9月にかけてきれいな花をつけ、お盆・お彼岸とお墓参りの際、皆さまの眼を楽しませていきます。また、境内には、ヤマユリやクマガイソウなどいろいろな植物が季節によって自然に花を咲かせ、彩りを見せています。

当山は地域の皆さまや、小学校等のハイキングや散歩コースの一つにも入っており、地元の方々を永年にわたり見守っております。



住職として心がけていること

こうして500年近く当山が続いているのは、仏さま、歴代住職、檀家の皆様のおかげだと思っております。また、私が今あるのは、多くの方々の支えがあればこそです。感謝の心を忘れずに、日々住職として精進してまいります。



第7教区

園林山 堂閣寺

大阪市天王寺区生玉寺町4番6号



開基 境智院日秀上人

創建 寛永16年(1639年)

住職 第47世 京藤白應師



お寺の見どころ

堂閣寺は国内有数の寺院密集地である大阪寺町の中で、浄土宗寺院に取り囲まれたような場所にあります。当寺が江戸幕府に弾圧された常楽院日経上人直系のお寺であるため、幕府と親しい浄土宗の各寺院に監視を受けていたといわれています。本堂は創建以来、火災、地震、そして空襲により幾度も灰燼に帰しましたが、昭和26年に再建されました。寺庭婦人だった祖母が空襲で燃えさかる本堂から取り戻した、祖師像と大過去帳が当寺の宝物です。

住職として心がけていること

よくいわれがちな仏教や仏事への誤解を直すことによって、関心を持つていただき、檀信徒の方々に「うちのお寺さん」と呼ばれるような身近で親しみやすいお寺にしていければと思います。



Recipe

大葉のジェノバソース

【材料】 2~3人前

大葉 … 20枚
ニンニク … ひとかけ
ナッツ … 30g
オリーブオイル … 100ml
塩 … 小さじ1/2



住職さんのメモ

今回はカシューナッツで作ります。松の実やクルミ、ピーナッツなど、好みのナッツでお試ください。



つくりかた

- 大葉はよく洗い、水気をふきとり、茎を落としてざく切りに。材料すべてをフードプロセッサーに入れ、細かくできたら完成。
- フードプロセッサーがない場合はミキサーでも大丈夫。



パスタはもちろんお刺身にかけたりパンにぬったり。ラーメンに垂らしても美味しいです。



Arrange a Recipe 1

新じゃがとホタルイカの大葉ジェノバソース和え



【材料】 2~3人前

新じゃが … 2個
ホタルイカ … 1パック
オリーブオイル … 小さじ1
塩 … ひとつまみ
大葉ジェノバソース … 大さじ1
醤油 … 小さじ1

つくりかた

- 新じゃがをよく洗い、水気をきり、皮ごと一口サイズにカット。耐熱ボウルに入れ、600Wで5分加熱。
- 新じゃがが熱いうちにオリーブオイルと塩をかけてざっくり混ぜ、味を馴染ませる。
- (2)が少し冷めたら、目を外したホタルイカと、大葉ジェノバソース、醤油をいれて混ぜ合わせ、味を整える。お好みで、ブロッコリーやトマトを添える。

Arrange a Recipe 2

ジェノバソースパスタ

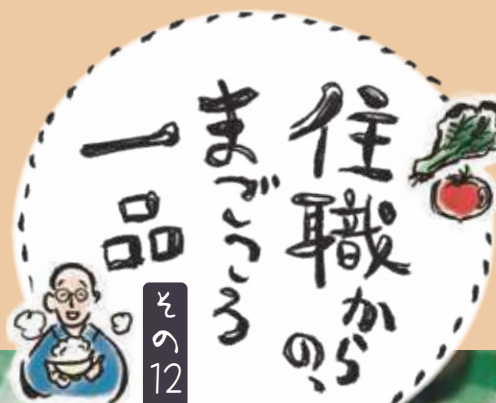


【材料】 2~3人前

パスタ(乾麺) … 150g
オリーブオイル … 少々
大葉ジェノバソース … 大さじ1半

つくりかた

- パスタを茹でる。茹で汁にオリーブオイルを少し垂らして、くっつかないように。
- パスタが茹で上がったら、すぐに大葉ジェノバソースを絡める。必要であれば醤油や塩で調整。



ご住職が、心のこもった一品を紹介していただくコーナーです。皆様もぜひ。

じきほう
(食前の食法)

てんさんこうみあたたちごこく
「天の三光に身を温め、地の五穀に
たまいやしなみなほんぶつじひ
魂を養う。皆これ本仏の慈悲なり。」

南無妙法蓮華経。いただきます。
(天の三光・太陽、月、星。地の五穀・米、麦、粟、豆、黍などの穀物。)



大葉のジェノバソース

今回はお家にあるもので簡単にイタリヤ気分を味わえる、夏らしいソースを紹介いたします。このソースでいろんなアレンジ料理が作れます。是非お試しください。

読者様からフ
レッシュなオリ
ブオイルを贈っ
ただきました。
本当にありがと
うございます。

中村文治師

1976年5月5日生、兵庫県姫路市出身。身延山大学仏教学部卒業。岡山県の寺院で5年間の法務経験をを経て、現在は円乗寺(兵庫県明石市)住職を務める。



トヨタ自動車株式会社 名誉会長・豊田章一郎氏 ご逝去

2月14日、トヨタ自動車株式会社名誉会長で、総本山妙満寺誓願人の豊田章一郎氏のご逝去されました。



章一郎氏は、トヨタ自動車を世界有数の自動車メーカーへと導き、また、自動車産業のみならず、日本経済を力強く牽引された方です。

2月23日、東京都内の会館にて大川日仰猥下を大導師に、副導師を土持栄孝本山総務と、豊田家菩提寺の常楽寺(名古屋市中村真乗住職がつとめられ、密葬の儀がしめやかに厳修されました。章一郎氏は長年にわたる誓願人として、岩倉遷堂後の総本山を物心両面で支援されました。またお元気な時には、毎年欠かさず春季大法要にご家

族誘い合って参詣され、お題目を一心に唱えられていました。

宗務院

公開研究例会

2月16日、教学研究所主催(所長 窪田哲正師)の「公開研究例会」がオンラインにて開催され、秋葉妙琳師(東京都・法成寺内)、藤崎裕学師(千葉県・大経寺内)、吉田英心師(千葉県・泰行寺)より研究発表があり、参加者からは活発な質問等がありました。また、研究発表後には、立正大学仏教学部教授 高橋堯英氏により「法華経が成立

した社会について」の講演が行われました。

第一教区

多門事正師

顕彰状授与式

4月24日、第1教区別格山妙法寺(福島県会津若松市)・多門事正師への顕彰状授与式(住職在職50年功労)が執り行われました。

5月の総本山妙満寺春季大法要にて授与式が予定されていましたが、ご高齢のため宗務院内局員一同で妙法寺に参詣し、宗務総長河野時巧師より顕彰状が授与されました。

総本山清掃奉仕

5月15日、什青会(会長・湯原正純師)会員有志と本山塔頭執事による、総本山妙満寺の清掃奉仕が行われました。5月の春季報恩大法要の事前準備として、参詣者が気持ちよくお参りできるようにと、本堂、客殿、大書院等、境内全域が清掃されました。



本山だより

第632回 御開山会

2月28日、大川日仰猊下大導師のもと、第632回目付大正師ご命日報恩法要「御開山会」を厳修、あわせて「釈尊御涅槃会」「宗祖日蓮大聖人御降誕会」が奉修されました。

新型コロナウイルスの影響により、規模縮小が続いていましたが、4年ぶりに平常通りの法要となりました。



常任院日修上人



山形県南陽市・本覚寺第40世、同県東置賜郡・寶蔵寺第28世 杉村正典師が、令和5年2月13日に世寿90歳にて遷化されました。2月22日に密葬、5月10日に本覚寺檀信徒葬が藤崎行学師(東京都・天妙国寺住職)を導師にしめやかに厳修されました。

略歴 昭和9年生まれ。昭和57年、山形県南陽市・本覚寺住職。平成10年、同県寶蔵寺住職。伽藍復興、寺門興隆に尽力された。宗内においては、昭和58年、第8教区布教師。平成6年、第8教区宗会議員。平成12年、第1教区宗会議員を務められた。

春季彼岸会

3月21日、大川日仰猊下大導師のもと、春季彼岸中日法要が奉修されました。法要に先立ち、京都大乘寺住職・吉永義聰師の法話があり、参詣者は熱心に耳を傾けていました。



こちら編集局

最初に編集局員に任命されてから現在4期目、足掛け11年目となりました。もう11年!? 今、自分で書いて驚きましたが、長い間「心の宝」とはご縁があります。

以前の編集局では「ぶつきょう紙芝居」や「まちがい絵さがし」等で、作画担当をしておりました。現在は「住職からの、まごころ一品」を担当することになり、家内とああでもないこうでもない奮闘しております。先月、読者の方からお料理頑張ってくださいと、調味料を贈っていただきました。とても励みになり嬉しく思います。これからもより良い誌面作りのため頑張ってまいります。皆様からの叱咤激励のおハガキお待ちしております。

「編集後記」 兵庫県明石市・円乗寺 中村文治



コロナで中止が続いていた春恒例の満山会主催「観桜会」が4年ぶりに開催されました。

約40名が参加、満開となった大書院前のシダレザクラを愛でながら、お花見弁当を囲み、幹事の大慈院役員の方々のお世話で琴の演奏やお茶席接待も行われ、春爛漫の楽しいひと時となりました。

法要後には、妙満寺檀信徒の会「満山会」(会長 大慈院総代・小泉光太郎氏)の総会を開催。令和4年度活動・決算報告、令和5年度活動計画・予算案が審議され、提案通りに承認されました。

花まつり(釈尊降誕会)・観桜会

4月8日、大川日仰猊下大導師のもと、花まつり(釈尊降誕会)が奉修されました。

法要に先立ち、京都妙祐久遠寺住職・鹿野恒仁師の法話があり、参詣者は真剣な面持ちで拝聴していました。

また法要後には、新型